診療科紹介

小児科

小児科医長 **古賀 健史** 先生

● 幅広い診療

小児科全般の幅広い診療を行っております。新生児から思春期までのあらゆる年齢層の子どもたちに対応し、一般的な病気から専門的な疾患まで、幅広く対応します。

● 入院管理

「ちょっと点滴が必要」「一晩経過観察をしたい」などの1泊入院から、精査や継続的なケアを要する入院まで対応いたします。さまざまな疾患に対して適切な治療を提供する入院施設を完備しております。

● 専門外来の充実

各分野の専門医が最新の知見と技術を駆使して診療を行います。内分泌疾患、循環器疾患、神経疾患、腎臓疾患、アレルギー・呼吸器疾患、新生児・発達など、多岐にわたる専門外来があります。

● アレルギー･呼吸器外来を新設しました！

本年度より日本アレルギー学会認定専門医・指導医によるアレルギー外来を新設いたしました。食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、気管支喘息、慢性咳嗽などのさまざまなアレルギー・呼吸器疾患に対応します。

★ 食物アレルギー

乳幼児から発症する消化管アレルギー、よく知られている即時型アレルギー、思春期～成人発症の花粉・食物アレルギーなど様々な食物関連のアレルギーに対し、適切な診断とケアを提供します。

日帰り入院食物経口負荷試験を始めました♪

食物アレルギーの管理目標は「正しい診断に基づいた必要最小限の除去」です。残念ながら、採血や皮膚検査のみでは正しい評価はできません。採血結果が陽性でも、食べられる可能性は十分にあり、最終的には食物を摂取して確認する必要があります。「給食や外食でみんなと同じものを食べたい」「採血で陽性だったけど、本当に全く食べることはできないのか？どのくらい食べることができるか知りたい」という希望がある一方で、保護者からは「家で食べさせるのは不安」、先生方からも「食べさせたいけど、一般外来診療と並行して対応するのは大変」という声を聞きます。当科では日帰り入院という形でスタッフの管理のもと、安全に必要最小限の除去を目指します。

★食物経口負荷試験の流れ

9:30	10:00	12:00	13:00
来院	入院 負荷試験	昼食	退院
外来で感染チェック	摂取回数は単回～3回 30分間隔で摂取	アレルギー対応の食事です	摂取終了から最低2時間は経過観察します

Food Ladderによる食事指導を行っています♪

お子さんの中には卵や牛乳などそのものの食物が苦手で、除去解除が進んでいない場合があります。Food Ladderは該当食物が少量含有する加工品から摂取をはじめ、段階的に含有量の高い食品を食べ、最終的にそのものを摂取していく方法です。そのものを無理して摂取することなく、日常の食生活で摂取したい食品を積極的に選択していきます。摂取量の決定や初回摂取で心配な場合は、日帰り入院食物負荷試験で対応します。この方法はイギリスやオーストラリアなどから有効性や安全性の報告はあり、そのものを摂取するより、アレルギー症状の出現率は低く、食べられるようになる可能性も同等と言われています。

★ アトピー性皮膚炎
非ステロイド外用薬･注射薬･内服薬の導入ができます♪

今までは小児のアトピー性皮膚炎の治療はステロイド外用薬を中心とする抗炎症外用療法が主でした。近年、分子標的薬と言われる、新しい薬（非ステロイド外用薬や皮下注射薬・内服薬）がたくさん出てきました。当科ではこのような薬剤を積極的に使用しています。ただし、治療の基本はスキンケア（保湿や清潔）と外用療法です。これらが十分に行われているか評価したうえで、湿疹の改善が十分でない場合は注射薬や内服薬を用います。「なるべくステロイドを使いたくない」「痒みをとりたい」「塗り薬が大変」と考えている方、湿疹状況や年齢よって使用可能な薬剤が変わってきますので、興味のある方はまず話を聞きに来てください。

★ アレルギー性鼻炎
舌下免疫療法を行っています♪

スギ花粉症やダニによる鼻炎に対して、舌下免疫療法を行っております。初回内服時・増量時は院内で内服してもらい、アレルギー症状出現の有無を30分程度確認しており、安全に導入することができます。仮に、アレルギー症状が出現した患者さんでも、抗ヒスタミン薬の併用や少量による維持を行うことで継続できる可能性があります。舌下免疫療法は3-5年間継続することが重要であるため、治療のモチベーションを継続させる取り組みも行っています。

★ 慢性咳嗽･喘鳴･気管支喘息など

「夜間の咳が止まらない」「咳が長引く」「小さい時からよくゼーゼーする」「息苦しさや喉が締め付けられる感じがある」などありましたら当科で精査を行います。また、気管支喘息のコントロールがつかないなどありましたら、精査やステロイド吸入指導の見直しなども行っております。

くまそうHP/小児科　　くまそうHP/外来医師担当表